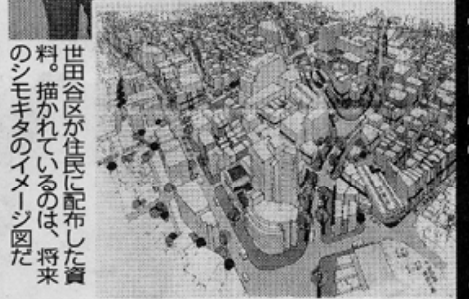


再開発バトル

推進派と反対派が真っ向から激突

この路地の先を幅26メートルの大通りが横切る（東京・世田谷区北沢で）



世田谷区が住民に配布した資料。描かれているのは、将来のシモキタのイメージ図だ

もめてるのは国会だけじゃない

自民と民主のバトルは「自爆男」とフーテンキ代表のせいであっけなくケリがついたが、東京都内でシ烈な高地戦が繰り広げられている場所がある。テレビドラマの舞台としても有名な東京の2大所産「シモキタ」こと北沢と、セレブの香り漂う「ニコタマ」二子玉川だ。闘いの原因は再開発。町を壊すな！「富士山を隠すな！」怒りの住民VS行政&業者のバトルの行方は？

風情ある景色が消える

急な北沢駅北側を貫く最大幅26メートルの道路「補助54号線」を造るプランを推進中だ。この計画、実は1ができて小田急線と交差するぶつと道路・補

下北沢

シモキタの街の「2013年に完成予定の地下化に合せて、再浮上したんです」（地元住民）

た。なぜかこうになって助54号線が通る。駅前が激変してしまうわけだ。工事までもう待たな！、世田谷区は、今月中に東京都の事業認可が下りれば着工する手続きを進めていくという。

商店の密集地に最大幅26メートルの道路が通る

CDショップ、小劇場などが立ち並ぶ路地文化が根づいた街。小池栄子の地元としても知られる。そんな東京の「名所」の下真ん中を、広い道路がぶち抜いてしまったら。また、再開発が進めば駅前が今までなかった高層ビルが誘致されることも予想され、環境は一変するだろう。「シモキタの良さがなくなってしまう」と怒りの声が上がっている。

シモキタ

ニコタマ

二子玉川

「ニコタマ」の愛称でおなじみ、東京・世田谷区の「二子玉川」も再開発に大きく揺れている。東急電鉄などで行く二子玉川東地区市街地再開発事業組合は、世田谷区玉川1〜3丁目に地上46階建ての住宅棟、31階建てのホテルなど7棟のビル建設を予定。大規模ショッピングセンターでにぎわう東急二子玉川駅西口に比べて、どちらかというさびれていた

46階建て住宅棟に31階建てホテルも建設



二子玉川駅東口駅前からと見える景色。西口駅前見えさびれている（東京・世田谷区玉川で）

反対派が提訴「富士山見えなくなる」東口側を再開発しようというものだ。これまで高い建物がなかった地域に、いっぺん

反対派の「にこたまの環境を守る会」は「ニコタマは都内有数の景勝地です。高層ビルが建つと富士山も見えなくなりまます。地域住民の環境、景観が変わってしまつて、計画はどう見ても利潤追求としか思えない。都市計画法に反する」と憤る。昨年10月、同会は業者の二子玉川東地区市街地再開発組合を相手取って「事業の差し止め」を求めて東京地裁に提訴するなど、反対運動はヒートアップ。先月、行わ

れた同組合による住民向け説明会でも同会のメンバーが質問を浴びせ、会を紛糾させた。一方、同組合事務局は「西側に比べてさびれている東側の地区を、再開発していきこう」ということ。反対派の住民の方から質問があれば、きちんと対応させていたたいです。説明会など機会を作って話をさせていたたいです」と静観の構えだ。再開発されれば、「ニコタマ」がさらに増殖し、セレブの街のイメージは強まりそうだが、古くからの住民にとっては複雑な心境かも。

坂本龍一氏も反対メッセージ

坂本龍一「ミュージシャンも賛同。坂本は、同団体のホームページに「なぐしたらもう二度と戻ってこないんだよ。築地にしてもそう。だから壊すな」とメッセージを寄せている。また、ある商店主は「道幅が狭い地域では防災上問題もあって、再開発は

「シモキタは自分たちのオリジナリティを発揮した小さな商店が密集しているところが魅力の一つだと思つ。区の計画ではそんな個性が失われてしまつ」と話す。反対運動には、あの「プロフェッサー」坂本龍一らミュージシャンも賛同。坂本は、同団体のホームページに「なぐしたらもう二度と戻ってこないんだよ。築地にしてもそう。だから壊すな」とメッセージを寄せている。また、ある商店主は「道幅が狭い地域では防災上問題もあって、再開発は